

# 産業オープンネット展2021 開催案

2021/2/25

産業オープンネット展準備委員会

1

## 目的

- ▶ 各種産業オープンネットワークのプロモーション・マーケットの拡大
  - ▶ 技術紹介
  - ▶ 製品紹介
  - ▶ 事例紹介
  - ▶ メリット紹介
  - ▶ エンジニアリング例
- ▶ 協賛会社のセールス拡大
- ▶ 最新情報と共に実用的な情報も提供する。

約束： イベントはフェアに実施します

2

## 共催と協賛

- ▶ 主催は産業オープンネット展準備委員会
- ▶ 協会は共催
  - ▶ ・IO-Linkコミュニティ ジャパン ・EtherCAT Technology Group
  - ▶ ・FDTグループ 日本支部 ・ODVA 日本支部
  - ▶ ・ORiN協議会 ・一般社団法人 CC-Link協会
  - ▶ ・JEMAネットワーク推進特別委員会 ・日本AS-i協会
  - ▶ ・NPO法人 日本プロフィバス協会 ・MECHATROLINK協会
- ▶ 協会の会員会社は協賛（昨年51社）
- ▶ 協賛会社は共催協会のどこかの会員であること（基本）

3

## 2021年の産業オープンネット展の案

- ▶ 以下の項目について、実施する。
- ▶ WEBセミナー（メイン）
- ▶ WEB 資料ページ
- ▶ メールニュース
- ▶ Q&Aセッション

4

## WEBセミナー

- ▶ 実施時期
  - ▶ 7月実施の予定。プレゼンする協会、会社の数により日数を決定
- ▶ 方法
  - ▶ Zoomを使用する
  - ▶ プレゼンする協会、会社は申し込み。実施順はくじ引き。
  - ▶ 1回のプレゼンは20分から30分。
  - ▶ 参加者の情報はその枠でプレゼンをした会社に渡す。(プレゼン単独での参加者情報提供は難しい。)
  - ▶ プレゼンのビデオは録画し、実施後、WEB資料ページで公開できるようにする。(コンタクト情報をとれるようにする) 公開はYoutubeの限定公開を使用する。
- ▶ 目的
  - ▶ Liveで各協会、会社の情報を提供する。
  - ▶ コンタクト情報を得る
- ▶ 費用 参加費用 4万円/回 プレゼンする協会・会社から

5

## WEBセミナー 実施のイメージ(案)

10:00-12:00

ルーム1A

7/12

MECHATROLINK 協会の MECHATROLINKの発展と 新たなモブグロブの発展 大塚 1009	ペロコフオートメーション 株式会社 ペコフのIoT端末による 高度生産とIoTの発展	パナソニック株式会社 インフラソリューションズ パナソニックのネットワーク サービスの提案	ifm efector 株式会社 IoTセンサーが作る IoTLink の未来
--	---	--	---

ルーム2A

7/13

EtherCAT Technology Group EtherCATメトリックと 最新ネットワーク技術 大塚 1009	日本A.S. 協会 IoTに適合するオープンネット ワークの最新技術と 新サービスA.S.5の紹介	Softing (ドイツロック株式会社) 遠隔操作向け OPC UA Server/Client 環境構築	フコ ジャパン株式会社 IoTコントローラ向けシリーズで 実現できるマルチプロトコル
--	--	---	--

15:00-17:00

ルーム1B

三菱電機株式会社 FCLink IE TSNJで実現する e-Factory 大塚 1009	ORIN 協会 工業IoTの発展を実現する オープンミドルウェア「ORIN」 の紹介	HMSインダストリアル ネットワークス株式会社 機器IoT →OPC UA, MQTTの発展と対応	日本テレガードナー株式会社 ヨーロッパ市場における 産業用ネットワークの 高度進化
---	---	--	--

ルーム2B

ODVA 日本支部 グローバルで展開される 「EtherNet/IP」の ソリューションと最新動向 大塚 1008	株式会社マイクネット PCとリアルタイムOSで実現 するエッジコントローラの 開発状況	ヒルシャー・ジャパン 株式会社 産業用(Open集約)通信IoT による製造業向けコントローラ meX 90	株式会社ケーメックス 産業用ネットワークで発展 するIPネットワークの利点 IPSETネットワークは有用な 接続ソリューションの利点
---	--	--	--

- ▶ Zoomはルームごとに実施のIDを取得する
- ▶ 視聴希望者はルームごとに参加を申し込む
- ▶ 参加する視聴者の個人情報やルームでプレゼンをした協会・会社に渡される
- ▶ ルームの割り当ては、共催協会で行う。(くじ引き+カテゴリを考慮する)
- ▶ ルームの司会は1人に任せない(バックアップできるようにする)
- ▶ ビデオ録画を作成し、Youtubeに登録する。
- ▶ リハーサルは行う

6

## WEBセミナーの懸案事項

- ▶ 過去の産業オープンネット展でも、懸案となっていたが、セミナーを予約して出席しない参加者がいる。
- ▶ 今回、参加希望者は予約時にすべてのセミナーを予約できるので、逆に欠席も多くなるのではと懸念される。
- ▶ 現在、有効な防止手段はない。
- ▶ ただ、参加申し込みをすることは、個人情報プレゼン予定会社に行くので、それは別のメリットになるかもしれない。

7

## WEB 資料ページ

- ▶ 時期 WEBセミナーの前2週間+WEBセミナー時期+5か月(希望会社)
- ▶ 実施方法 昨年の産業オープンネット展 WEB展示会と同じ
- ▶ 目的 共催協会、協賛会社の技術、製品の広報  
WEBセミナーの動画公開  
通常のHPとして使用
- ▶ 昨年からの変更点
  - ▶ 閲覧者が会社名、名前、メールアドレス等を入力してから、資料をダウンロードするページを作れるようにする。(オプション) WEBセミナーのコンテンツ視聴にもこの機能を使う。=>個人情報の取れるHP
    - ▶ 昨年の資料、コンタクト希望ページは使われなかったので削除する
    - ▶ トップページをグラフィカルに変更する
    - ▶ WEBセミナー後、資料ページを残すかは、各協会、会社の任意とする
- ▶ 費用 参加費用 5万円(前回参加会社は3万円)+オプション 2万円
  - ▶ 新しいページ作成は4000円、変更は2000円は同じ

8

## メールニュース

- ▶ 産業オープンネット展のメールニュースリスト 約6000名
- ▶ メディアによるメールマガジン
- ▶ 費用はかかるが、WEBセミナー、WEB資料ページの広報のため、メディアのメールマガジンを活用する。
- ▶ メールマガジン内に広告を出せるようにして費用をある程度まかなう。(4社/メールマガジン)
  - ▶ これだと1社あたり3万円から5万円の費用となる。
- ▶ メールニュースの発行はWEBセミナーの2週間から3週間前

9

## Q&A セッション

- ▶ 実施時期 : WEBセミナーと同時期 (2時間くらい)
- ▶ 目的 : 産業オープンネット展でしかできないイベントを考える。
  - ▶ いろんな協会・会社の意見を聞けるのは、参加者にとってメリットがある。
- ▶ 実施方法 : 事前に決めた質問について協会、会社からの回答(5分くらい)+会場から追加の質問をいくつか受け付ける
  - ▶ 回答をする協会、会社は参加協会、会社から申し出、または質問者の指名
  - ▶ 司会は、たたき合いにならないようセッションをコントロールする。特定のネットワークのデメリットを強調する質問は受け付けない。
- ▶ 質問は、募集する。(Q&Aセッション前に質問とはじめの回答者は決めておく)
- ▶ 産業用ネットワークのマーケットを広げるような質問を共催協会を選ぶ。たとえば ;
  - ▶ Ethernetが導入され、変わったこと。
  - ▶ 異なるネットワークシステムの結合
  - ▶ IoTと産業用ネットワーク
  - ▶ 保全作業をどう考えるか?                      その他

10

## 参加費用まとめ

	項目	費用	説明
1	WEBセミナー	40,000円	
2-1	WEB資料ページ	50,000円	初めての参加の場合(基本製品)
		30,000円	前回のページを使う場合
2-2	WEB資料ページ オプション	20,000円	資料をダウンロードする請求者の情報を得られるようにしたい場合
2-3	WEB資料ページ 変更費用	4,000円/ページ	新規
		2,000円/ページ	変更
			ただし、変更はビヨンド殿に依頼するので、コーディングにより価格の変更もあります。
3	メールマガジン 10行広告	30,000円から 50,000円	希望者：媒体により値段が変わる

11

## 個人情報の取り扱い

- ▶ 産業オープンネット展のHPに「事業者が守るべきルール」の対応を掲載する。
- ▶ WEBセミナーでプレゼンをする協会・会社には、ルーム単位でセミナー事前参加登録者、実際のセミナー参加者の個人情報を渡す。
- ▶ 資料ページで個人情報が入力された場合は、その資料を保有する協会・会社に個人情報が渡される。
- ▶ WEBセミナーの参加登録は「産業オープンネット展が個人情報を以後の案内に利用する」ことを同意してから登録できるようにする。
- ▶ 共催協会、協賛会社は、参加者の個人情報を適切に管理することに同意する。

12

## 今後について(7月開催として)

- ▶ 協賛申込ページを3月1日から4月9日まで設置する。
- ▶ 4月12日の週に、WEBセミナーのルーム割り当てを共催協会で行う。
  - ▶ この時、Q&Aセッションの実施について決める
- ▶ 5月半ば プレスリリース
  - メールニュースで広報開始
  - 参加受付開始(早いか?)
  - 案内状(pdf) 発行
- ▶ 6月 WEBセミナーリハーサル
- ▶ 7月 WEBセミナー実施